

東田利町報

No.286 昭和54年1月1日発行 昭和42年7月21日第3種郵便物認可 毎月1・15日発行



あけまして

おめでとう

ハッピーニュー

No 286

1/1

謹んで新年のお慶びを申し上げます



年頭の御挨拶

町長 小松 栄男

新年のお喜びを申し上げます。昨年は円高不況だということであったが、昭和初期の大不況に比べると、それ程深刻なものではない。本年も早急な回復は望まれないというが、景気の良い時も、悪い時もあるのが世の中であるから、明るい面に眼をやり希望を持って、昭和五十四年の新春を迎えたい。



五十三年の町政は積極的に推進して行き度い。昨年は皆様からのアンケートを基礎にした「東由利町総合整備計画」を策定しました。これを基本にして今後十年間の町の建設を行ってゆくこととなります。五十三年度予算は、当初で約十六億、最終補正で二十二億という大きなものになりました。五十四年度は、一〇七号線の改修が本格的になります。

各県道の改修が進捗しますし、町道、農道、林道、牧道の改良舗装を積極的に実施。圃場整備、農業構造改善、農村環境整備を柱にして、減反対策、畜産、たばこ、林業、出稼対策、商工業対策をキメ細く配慮しなければならぬ。建設工事について常に心がけていることは、「良い設計をし」、「良い工事を施工し」、「良い社会資本を次の時代に残す」であります。行政の一ツツの蓄積が、明日の東由利町の姿になるのでありますから、細心に配慮をして行きます。

道路改良を展望すると、一〇七号の改修が進むと、本荘、横手共、三十分の距離になり、東北高速道路と横手のインターで結ばれる。法内線、黒沢線の改修で新空港とは近距離に在る町村の一つとなる。圃場整備関連で黒河田代線、松柴線が着工した。杉森、沼地区の金山線は対豪雪事業として五十三年度だけで一億六千万の予算です。大吹川から大内町々境間一万平米の間の道路新設改良を構想して一部実施中、基他、文教、福祉、保健の行政のソフトの面はマンネリにならぬよう。交通事故対策に積極的に。五十四年は皆様と一緒に希望を持って進みましょう。

テレビで馴染みの笹川良一氏の真似ではないが、世界は皆兄弟、一日一善の大精神を培い、世界の平和のため闘う大志を持ちたいと考える今日この頃です。春に行われる知事選挙や、夏の町長選挙にも、我々のため頑張ってくれる人を選びたい心境です。良き新春を祈念して、妄言多謝。

昭和五十三年も、やっと乗り越えて五十四年を迎えました。五十三年を振り返って躍進の糧と致しましょう。オイルショックに振り廻され倒産の続出した五十一年、五十二年も福田内閣の誕生に依る不況対策、赤字公債発行に依る公共事業の発注で息



の発足の影響は未知数であり、我々は慎重に見守りたいと考えます。五十三年度の大きな事件で、日中平和条約が結ばれたことは、皆さんと共に

新年を迎えて

議会議長 長沢 毅

本年は選挙の年といわれ、いろいろな選挙が数多く実施される年でありますが、清く、明るく、正しい選挙が行われ、戦後三十年、我が国も民主主義が着実に浸透しつつあることを実証してほしいものと思います。学校教育は、昨年十月文部省次官通達で、「小学校の移行期間の教育課程については、現行の学習指導要領と特例によるが、その実施にあたっては、新学習指導要領の趣旨を生かして指導

年頭にあたり

教育委員長 佐藤 松之助

新年おめでとうございます。年頭にあっては、いつも、明るいよい年であるようにと祈るの



は人情の自然であります。なかなか思うようにならないのが実情であり、残念に思います。それでもやっぱり、本年こそは名実ともに昨年よりも一歩前進したよい年であるよう、心から念願いたします。新年を迎えると、私はいつもこんな気持ちになります。

するよう努めること」とされておられ、各学校ではこれに従って教育を実施していますが、本年は二年目を迎えて、五十五年度からの完全実施に向けて、これがスムーズに移行できるよう努力しなければならぬ年になっております。教職員各位の真剣な教育実践により、その成果の、更に一層挙げられることを期待し、念願いたします。

干支に思う

大琴 佐々木徳昭

新年おめ

でとうござ

います。

今年羊

年、人生に



対して無頓着な月日の中に、干支はその運命と位置付けで心の目を覚ます様な気がします。

遠く聖書の時代より羊は神々にその民と例記され、神の心に誠実である事は又人生の基本にあるべきものなのかもしれませ

ん。干支は人々の世代を縦の節目とし又、我々の世代をも貫いて

います。しかし、同世代にあっても生活環境の違いは互いの心を遠ざけ、一世代としての奮起は成し難くその道も現在は多種多様にわたっています。又それは、逆に新たな時代への模索として我々に課された責務とも言えます。新文化は慣習からの脱皮に始まり、自己の心を解いて成る。東田利は山間ではあるが、その様に柔軟な精神を持った人材を育て上げてこそ真の文化圏たり得ると思う。

理想は空想でしかありませんが、理想の無い現実には空虚です。その目的は物質のみに向うのです。物があるから幸福なのでなく、幸福の中より物質が形を表わす。幸福への模索のあり方が大事なものと思います。荒野の理想の草を食み、幸福の毛をまと羊の様に……。

健康で親子仲良く

館合新田 高橋 清子

謹んで、

新年の御喜

びを申し上

げます。

来るべく



してやって来た、三回目の自分の生れた「未年」を迎え、一回目、二回目をどんな気持ちで迎えたのか全く身に覚えのないのに比べ、三回目は正に感無量と

いった所です。又静かに当りを見つめるとあまりの変化にびびりしてしま

未年生れの私の賀状



から羊に変わる私達の年の様です。

明るい社会で

ありたいと

蔵新田 遠藤 誠喜

あけまし

ておめでと

うございま

す。

今年馬

正月を迎えて一年間の暦の生活、その由来はともかくも人々の心にしっかりと定着した生活

慣習、私は先ずここに注目したい。人の見方はあるにせよ何かに区切りがつけられる様な気持ちになるからです。清々しく、初々しく、そして何んとなく安らぎが加わりおのずと希望がわき出るこのすばらしさ……これは祖先が作り上げた生きる為の生活の知恵として有難いし、大事にしたいものです。

今年で七十年代も最後になりました。進歩と調和のスローガンで出発した七十年代も最後の締めくくりを迎える訳で、何かと意義のある年に感じてなりま

せん。

そこで、一農業者、一社会人として次の事を考えて見たいのです。

それは、米の消費が年々落ちて主食から遠のく感がしてならない事です。米作農民、その地域として実に不安な事です。

食物が豊富な為、どこか家庭でも子ども達がなかなか米にない現象……。今迄の大人達と、これから成長して家庭を持った時の子ども達との食

事形態を想像すると大きな違いが予想されます。米は栄養素的に秀れた食物と

聞いているし、豊かな副食を取り入れた形態は決して見劣りするものではなく、むしろすばらしい事と認識して、子ども達には三

度々々々ちんとした食事の仕方をやって行きたい。再認識される日がきつといつか来ることを初夢としたい。

私の趣味

田代 小松マサヨ

明けまし

ておめでと

うございま

す。

新しい年

と言うものはいつになっても心新たにさせられるものです。

「一年の計は元旦にあり」と言う古くからある言葉も、今日のめまぐるしい社会ではなんとなく色あせてしまった様に思われます。

流通機構の発達した現代社会

において、物を作る喜び、物を大切にするという基本的な事を忘れかけている様な気がします。

市場には安くてより良い品が豊富に出廻っておりませんが、この様な環境につつまれ、せめてそ菜だけでも自給自足をしてみたいものだ心がけております。

仕事のかたわらに作る作物だけに、決って良い出来とは言えませんが、作る喜びの伴う野菜の味はまた格別のものがあります。

時代の遅れといわれるかも知れませんが、そ菜の自給自足を私の趣味として、体力と時間の許す限り、一生の計としてやっていきたいものだと考えております。

町民の皆様御健勝と御発展を心からお祈り申し上げます。

時代を省りみて

泡の淵 横山治三郎

今年羊

の年、良い

年でありま

す様お祈り

申し上げます。



時代の場合、世の移り変わり十年ひと昔と言うが、炎を見るが事く文化進歩の発展と共に変動の激しい不況、インフレ、物価高、売物物が安く買える物が高い

今日このごろで御座居ます。私もあの東亞戦争出征兵士の一人として丸五年、満州及び北支に派遣され警備に参加致しました。あの見渡す限りの広原

地にして、大豆、トウモロコシ、大根、さつまいも等の栽培が多かったこと……。

さつまいもを買った小さい物三個で百円、実に驚きました。内地では何銭に等しい金が終戦一年と立たない内に日本にも不況が到来して参りました。思うと本当に夢のように時代を送った様に感じます。

さて、東田利富士・八塩山に於て五、六年前、郡中学校生徒の時は実に盛大でした。あの八塩山も観光地の一步を踏み、発展する姿を見ましたが、その後、消えたか眠ったかの様で……。

うか早く復活して貰いたいものです。

野菜の自給自促が叫ばれ、昨年と続く二倍の減反が実施され牧草地、休耕地が多く見られる

現在、転作物等も、排水不良、雑草などで何かと手間がかかり、良い野菜も出来ません。

日常感じていることは、田畑地が多く有りつつ、本庄沼館方面より野菜を買入れする仕末。

これを何んとかして野菜作りの指導者を招き、外より買わずに出来る様実行し、農協等へ週一回位市場をもうけて農家の研究を深めて貰いたいものです。

不況続日の折、農機具等の更新代金、各共済保険等実に農家非常時代。お互いに話し合い、何事も「率先実行」「健康第一」

にして働き頑張りと共に、一九七九年も町民御一同様、何卒宜しくお願い申し上げます。

一般会計 一億二千万円台に

十二月定例議会

小松町長 四選出馬を正式表明

町議会第十一回定例会は、去る十二月十五日に招集されました。

開会に先立ち町長の町政報告があり、続いて会期を同日から二十二日までの八日間と決定したあと、四議員が水田利用再編対策や畜産公害対策、過疎対策、教育問題等について当局の考えを質しました。

このあと、昭和五十二年度東由利町一般会計、同国民健康保険事業勘定特別会計、同簡易水道事業特別会計、同黒瀬診療所特別会計、同玉米財産区特別会計それぞれの歳入歳出決算の認定五件を上程、審査を総務委員会に付託（各常任委員会との連合審査で会期六日目まで審査）して、日程第一日目を終了しました。

本会議二日目の十六日は、一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例など七議案を審議、いずれも原案どおりに可決しました。

会期最終日の二十二日は、字の区域の変更についてなど追加提案された三議案を含む六議案を審議、いずれも原案どおり可決しました。

さらに、昭和五十二年度各会計決算の審査内容について小松

与惣雄総務委員長から報告がなされ、満場一致で認定されました。

また、教育民生委員会に付託されていた「教職員定数抜本改正するため関係各省庁へ意見書を出していただくこと」について川尻委員長から報告があり、不採択とされました。

このほか、今回陳情された「道路の改修について」と「国内林業の救済振興をはかる陳情について」は採択、要望事項の「農地の固定資産税に関する要望書について」は不採択、請願事項の「一般消費税新設に関する請願書について」は総務委員会

に付託し継続審議としました。全日程終了後、来年の町長選挙に対する考え方について質問された小松町長は「現在わが町では数多くの事業をかかえ、執行中であり、また、東由利の将来についても各方面にわたる構想をたてており、はなはだ不肖ではありますが、次期も町政を担当し、町民の期待にそうよう最善の努力をしたい考えであります。

何卒御理解を賜わり、今後とも御指導いただければ幸いです。」と、正式に立候補することを表明しました。



建築工事中心に報告

水田利用再編対策

実施田は百六十八・一ヘクタール

この機会に、町の建設関係その他についてご報告申し上げたいと思います。

◎建設課関係

昭和五十三年度に計画した町道改良事業は十二事業。延長が三千四百三十六メートル、総額一億二百万三千円で、三路線を除いて全部完了しました。未完成路線の新田線は八十五パーセントの進捗率、湯出野線が二十パーセント、大谷地線が

部工が五十パーセント、上部工は現在ゼロ。というのは上部工は鋼材ですのて下部工が出来ればすぐ出来ることになっています。石塚橋、夏川原橋は発注の時期からしてゼロ。これは橋台の掘削、コンクリートの使用量等々の問題があり、今後注意指導して若干の部分は明春に越えることも予想されますが、会計年度内に完成したいと思っています。

この橋梁の延長が九六・八四メートル、事業費総額五千七百八十二万円。

林道の開設事業ですが、これは二カ所。一カ所は杉森線、残りは現在県代行路線で計画している金山線のさらに延長部分です。工事の性質は県単補助事業です。

林道舗装のうち、災害復旧をした軽井沢林道つけ替え道路は、延長二百十メートル、工事費三百五十万円です。全部完了しています。

農道改良力所は五カ所。尚、現在報告しているのは町事業ですが、この農道の中の軽井沢、根小屋線等は県事業でありながら設計管理監督等を町が実際行っているもので町事業の中に入れて報告します。

総延長が三千六百四十六メートル、事業費総額二億一千八百二十六万八千円。この中、小田橋の取り付け道路の進捗率が五十五パーセント、軽井沢線が九十八パーセント、根小屋線が八十五パーセント、ミニ総パのアクト線は未発注。

町道の災害復旧は二カ所で、査定額の合計が百七十三万四千円。一カ所は発注済、一カ所は

十二月中に発注する予定。町村管理の河川災害復旧は十三カ所で、査定額が四千三十三万七千円。十二月中に発注するものが八カ所、二千六百十四万九千円。残は来年発注する予定です。

林道災害復旧は五カ所で、延長百十七メートル、金額は六百二十八万四千円。十二月に発注するものが二カ所、二百十八万三千円、三カ所は来年度に発注の予定。以上で町の建設課担当の事業実施状況を終わりますが、次に県が施行している俗にいう公共事業について報告します。県管理ですのて多少数字的に違いがあるかも知れませんがご了承下さい。

国道一〇七号線の蔵工区はボーリング調査と用地の買収交渉を行っています。

板戸地区は延長で千七百三十九メートルを計画して、九千九百万円の事業費が決定しています。

大琴の流雪溝は六百四十八メートル、事業費にして二千七百十五万円。これは完成しています。

神岡坂部横渡線は四百八十八メートル、事業費として三億四千三百四十万円で現在九十パーセントの進捗率。

樺瀬横渡線は延長百十メートル、金額が千二百万円。これは最近に村上建設が落札しています。

山崎鴻屋十文字線は六百五十メートル、五千八百万円。用地関係の問題で完成には至っていません。県代行の金山線は本年の事業延長が千三百メートル、事業費が一億一千百万円で、工事費が八千二百四十万円。舟木の橋は延長が

六十メートル、事業費が五千百万円、請負額が四千六百万円。道路の方は今年度中に完成の予定のようです。

羽後向田館合線は現在二千万円の予算で用地買収にあたっています。

林道舗装は、土場沢線、当初予算が千五百万円で追加分が五百十万円程度。

県の河川災害復旧は、カ所数が三十七カ所、一億一千九百七十八万二千円。完成カ所が二カ所。十二月に発注予定が十三カ所あります。

県道の災害復旧が三カ所、二百七十七万四千円で、内二カ所は完成、十二月中に一カ所発注する予定です。

建設課関係以外の建設事業では、中学校前庭舗装が完成しています。開発センター、高校の前庭舗装は一部手直しがありますが一応完成しています。

◎産業経済課関係

産経課関係ですが、県営農場整備は四億一千万円で、現在施行しているのは黒瀬、湯出野、寺田の面工事が五十九・三メートル、玉米地区の暗渠排水が九十六・三メートル、事業費として三億四千三百四十九万一千円です。

二次農構で、農地造成が二カ所、二十・三ヘクタール。傾斜等々で実際に使用できるのは十三・九ヘクタール。事業費は九千四百三十七万円、これに田代地区の取り付け道路四百七十メートル、四百万円、畑地造成は完了しており、取り付け道路は九十パーセントの進捗率。同じく二次農構の中の、ライス

センターは二億八千万円、機械導入は九千七百八十五万八千円で完成。二つの集落センターは一億二千二百七十四万四千円で完成しています。

ミ二総バ関係の用水路工事は二カ所で延長千二百八十メートル、千五百五十三万円で宿大堰は完了。下吹が八十五メートルの進捗率。

山振関係で実施した簡易水道三カ所、二千八百四十九万七千円で全部完成。

草地開発関係は、草地更新が五カ所十五・二七〇、八百三十万円で全部完了。草地造成が二カ所、板戸と大吹川で四・二〇、三百万円でこれも完了。

大谷地牧道は三百〇、四百二十四万四千円ですが、四十メートルの進捗率で来春に完成したいと思っています。

水田利用再編対策面積は、実施が百六十八・一〇、達成率は百二十・一。奨励金は一億百三十七万六千円。

産米売渡数量は、限度数量の七万五千五百五十俵のほか、超過米が五千三百十三俵となっています。

葉たばこの収益が、現在百十七戸、三十畝で一億七十四万三千円となっています。

出稼ぎには七百五十名がいており、内互助会加入は七百九名。職種は建設事業が六十、製造業が二十、その他二十となっています。

◎住民課関係
防火水槽六基を計画し全部完成。消防機械置場四棟計画したものも全部完成。

今日までの火災発生件数は十一件で、消防団員で出稼ぎに出ているのは全体の四十四に当たる九十九名です。

◎企画室関係

農村総合整備計画の国土庁ヒヤリングを受け、計画はよろしいということになっています。尚、最終的な計画表は三月中旬までに提出する予定になっています。

農村総合整備モデル事業は、現在策定したもので十三億五千万円。昭和五十五年を初年度にして実施していきたい予定で作業中であり、今後さらに協議をしてもらいたいと思っています。

◎教育委員会関係

宿小は工事費一億六千五百九十四万四千円ですが、十一月二十日に工事を完了しました。尚、玄関から入ったホールの壁面についてはさらに工夫使用するべく検討しています。

湯出野遺跡は六百七十万円の予定で、土工分三百三十八万円を契約し、三十四・四パーセントの進捗率です。残は（土拡墓の型取り）未発注です。

以上で終了です。

河決された案件

【昭和五十三年年度一般会計補正予算（第七号）】

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ四千二百三十三万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ二十二億二千三百三十二万九千円としたもので、歳出補正の主な内容は、議会議員、

特別職、一般職の職員等の給与改定に伴うもののほか次のとおり。

●秋田県知事及び県議会議員選挙費六十六万八千円 ●重度身体障害者生活環境改善事業費補助金三十六万六千円 ●葉たばこ売上一億円達成記念大会協賛補助金二十万六千円 ●水田利用再編推進特別交付金千三百四十四万七千七百七十九円 ●坪倉線災害復旧工事請負費百六十六万六千六百六十六円 ●土場沢線災害復旧工事請負費百六十六万六千六百六十六円 ●深山川災害復旧工事請負費百五十八万八千八百八十八円 ●土場沢川災害復旧工事請負費百七十七万七千七百七十七円 ●冬期交通対策費六百八十八万三千三百三十三円

【昭和五十三年年度国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第一号）】

昭和五十二年分の療養給付費及び助産費の国庫支出金還付金と、職員の給与改定等に伴うもので、歳入歳出のそれぞれに七百九十九万八千八百八十八円と追加し、それぞれの総額を三億七千七百七十七万七千七百七十七円としたもの。

【昭和五十三年年度簡易水道事業特別会計補正予算（第四号）】

東由利水道修繕人夫賃と、職員の給与改定に伴うもので、歳入歳出のそれぞれに三十九万八千八百八十八円と追加し、それぞれの総額を二千五百七十二万二千二百七十二円としたもの。

【昭和五十三年年度黒淵診療所特別会計補正予算（第一号）】

医薬材料費などで、歳入歳出のそれぞれに二十二万五千円を追加し、それぞれの総額を二百二十万七千七百七十七円としたもの。

二十万七千七百七十七円としたもの。

【昭和五十三年度米財産区特別会計補正予算（第一号）】

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ七十九万五千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ百五十五万八千八百八十八円としたもの。

【議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正】

議会議員の報酬を改正したもので、報酬月額が議長が十万円、副議長が九万円、議員が八万五千円となり、十二月一日から適用される。

【特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正】

町三役の給与額を改正したもので、給与月額は町長が四十万円、助役が三十一万五千円、収入役が二十九万五千円となり、十二月一日から適用される。

【一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正】

人事院の勧告に基づき、国家公務員の給与法が改正されたのに準じ、町一般職の職員の給与及び手当を改正したもので、四月一日にさかのぼって適用される。

条例の一部を改正

八、四三三・九二平方メートル、売り払い先 秋田県知事 小畑勇二郎

【字の区域の変更について】

東由利地区県営圃場整備事業施行に伴い、字界変更しなければならぬ部分が生じたので従来の字界を変更したもの。

今回変更した地区は第二換地区（八日町から須郷田）。

【特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正】

公民館長の報酬月額が改正され、八万五千円となり、十二月一日から適用される。

【多目的研修集会施設に関する条例について】

黒淵、蔵の両多目的研修集会施設（集落センター）の設置管理運営を定めたもの。

また、諸問題については土地改良区に申し述べてもらい、そこで処理してもらうよう四者会議では話しており、受益者にもそうお願いしている。

県道改修に伴う用地測量が所有者の立ち会いなしで行われているが、これで境界などの正確な測量ができるかどうか。測量の根拠、基礎は何をもって行っているのか伺いたい。

建設課長 測量に当たっては、用地等に関する説明会なども行な

四 議員が一般質問

県道改修など

三項目を問う

長谷山直助議員



県営ほ場整備事業の設計施行について、町はどの程度まで立ち入ったのか。

また、工事施行工程において農業にとって最も大切な表土を道路の路帯に使っているなどの諸問題があり、これらの処理をどうするのかを伺いたい。

助役 この事業の採択されるま

では町が中心に行ってきたが、その後は、事務は土地改良区、工事の実施は県が行っている。

なお、昭和四十九年七月から、これに町、農協も加って四者会議という協議会を作り、事業の円滑な推進を図ってきている。

表土の路帯土使用は工事費の面からも現状においてはやむを得ないと思われる。

また、諸問題については土地改良区に申し述べてもらい、そこで処理してもらうよう四者会議では話しており、受益者にもそうお願いしている。

県道改修に伴う用地測量が所有者の立ち会いなしで行われているが、これで境界などの正確な測量ができるかどうか。測量の根拠、基礎は何をもって行っているのか伺いたい。

建設課長 測量に当たっては、用地等に関する説明会なども行な

い関係者の了解を頂くとともに、境界確認の為、町の係も行って現地での関係者の立会をお願いし、協力を得ている。

なお、県道の潰地の測量設計が出来ているので、あらためて説明会を開き、関係者の了解を得たいと思っている。

玉米財産区において、その面積や所有者との境界等の管理について伺いたい。又、思いがけない損失が無



教育問題など

七項目に質問

藤原虎之助議員

畜産振興上、粗飼料生産と採草地計画、及び明年度における草地の新規造成並びに更新計画について問う。

産経課長 機械造成可能な土地はほとんどなくなっており、今後は、不耕起造成を積極的に進めるとともに、水田利用再編対策における飼料作物付けを図り、さらに単位当り収量を上げる方向で、粗飼料生産確保を図っていく。

来年度の新規草地造成は二カ所で四割、更新は約三十割を予定している。

畜産公害防止と尿処理、良質粗飼料生産のため草地に尿溜を設置したと思うが、明年度二カ所位の予算措置する考えはないか。

産経課長 良好な方策と思うので実現の方向で検討したい。

町の特産物として将来性があるヤマメ、ニジマスの

うまい米づくりと乾燥というものには密接な関係があり、できるだけ自然乾燥に近い乾燥を行うライスセンター利用をもつてうまい米づくりを進めたい。

また、現在個人所有の乾燥機の更新等には、過剰投資をさける意味からも、ライスセンター利用の方向に指導していきたいと考えている。

東中のある学年で実施した一年間で四回の労力テストによると、成績はあまりかんばしくなかったと聞く。これだけで町の教育レベルを論ずるものではないが町の教育水準をさらに高めるためにも、現場の学校の指導的立場にある教育委員会として児童、生徒の実態把握、原因究明をし、その対策を講ずるべきと思うが。

養殖について、十分な生産をあげるためにももっと積極的な施設整備に対する助成、指導が必要と思うが。

産経課長 現在四カ所に、試験的に簡易な養殖池を設置しているが、成績がよければ、本格的なコンクリート養殖池を設置するなどの指導を加えて行く。

今秋におけるライスセンター利用は予想以上に低かった。町は農協とともに高度利用を図るべく方向付けを考へるべきでないか。

また、うまい米の生産と畜産振興などの面からも、火力、自然の両乾燥について、農協の指導部とも考え合せ町の米生産、処理についての方向づけを考へるべきと思うが。

産経課長 初年度でもあり、利用の低下は仕方なかったと思われる。

うまい米づくりと乾燥というものは密接な関係があり、できるだけ自然乾燥に近い乾燥を行うライスセンター利用をもつてうまい米づくりを進めたい。

また、現在個人所有の乾燥機の更新等には、過剰投資をさける意味からも、ライスセンター利用の方向に指導していきたいと考えている。

東中のある学年で実施した一年間で四回の労力テストによると、成績はあまりかんばしくなかったと聞く。これだけで町の教育レベルを論ずるものではないが町の教育水準をさらに高めるためにも、現場の学校の指導的立場にある教育委員会として児童、生徒の実態把握、原因究明をし、その対策を講ずるべきと思うが。

養殖について、十分な生産をあげるためにももっと積極的な施設整備に対する助成、指導が必要と思うが。

産経課長 現在四カ所に、試験的に簡易な養殖池を設置しているが、成績がよければ、本格的なコンクリート養殖池を設置するなどの指導を加えて行く。

今秋におけるライスセンター利用は予想以上に低かった。町は農協とともに高度利用を図るべく方向付けを考へるべきでないか。

また、うまい米の生産と畜産振興などの面からも、火力、自然の両乾燥について、農協の指導部とも考え合せ町の米生産、処理についての方向づけを考へるべきと思うが。

産経課長 初年度でもあり、利用の低下は仕方なかったと思われる。

教育長 東中が他校と比べてそんなに学力が劣っているとは思われないが、深く掘り下げてみると様々なことがあるかも知れない。今後よく調査した上でそれぞれに対処していきたい。

袖山小の水道のろ過消毒工事が今もって実施されていないのはなぜか。また、この工事を十二月中旬にやるかどうかを伺いたい。

教育次長 町の水道係や業者とも検討したが、完全な設備をもたせなければ問題解決にはならないとの結論を得、これには地域全体として取り組んでもらいたいと考えている。

学校には、雑菌対策として簡易滅菌装置を取り付けるべく、すでに発注している。

畜産公害防止策など

三項目を問う

伊東庄一郎議員

畜産公害、特に尿処理問題の解決策として、バキュームカー購入とともに、年次計画で放牧場、草地に尿溜を建設。これから草地に尿散布を行ない自給飼料の増産と低廉を図り、畜産振興を図る計画はないか。

産経課長 尿の草地還元は地力増強対策からしても必要なことであり、バキュームカー、尿溜の購入、設置、運営、管理等十分検討して進めていきたい。

西山線を蔵まで延長し、住宅団地外町の産業振興を図られる様を望み、当局の見解を伺いたい。



過疎対策など

三項目に質問

小野 要造議員

建設課長 近日中に現地調査を

過疎に歯止めをかける対策として住宅団地や宅地造成を実施する計画はないか。

町長 なかなか適地が見つからず、又手に入らない状況だが、早期に実現出来るように対策をたてたい。

今年度新規事業として、六戸の農家がマッシュルーム栽培に意欲的に取り組んでいるが、町としても地場産業振興の面からも、畜産や葉タバコ農家並に指導を加えることはもちろん、経済的な助成措置を講ずるべきと思うが。

町長 自主的にやる者に対してこそ何かしらの手当を考へるべきと思う。

除雪作業に際しては、毎年町民の皆さんにいろいろお願いしていますが、今年も次のような点について特にご協力をお願いいたします。

◎ 路上には違法駐車や故障車の放置はしないで下さい。除雪車は、前進後進をく

し、図面を作製して検討を加え改良の足がかりとしたい。工事施行に当っては国庫補助事業としてできるよう関係方面と協議している。

また、すでに採択されている上の台グラウンド整備を五十四年度中に実施する様お願いしたい。

町長 処置状況については調査した上で本議会中に報告する。尚、根本的な考え方として、採択されてすぐやれるもの、又二・三年後にやった方がいいものかできるもの、さらには諸条件を勘案して実施不可能なものもあることを理解し、了承して頂きたい。

り返すことが多いので、二十以上の車間距離をとって停止して下さい。

◎ 除雪車は、雪を押しているののでいつ横滑りするかわかりませんので、無理な追越しはしないで下さい。

◎ 除雪作業は、それぞれの目標物、標識を目当てに作業をしていますので、それを移動したり、変更したりしないで下さい。

除雪に際してのお願い

黒淵・蔵

集落センター完成

呼称は「八塩館」・「大蔵館」と

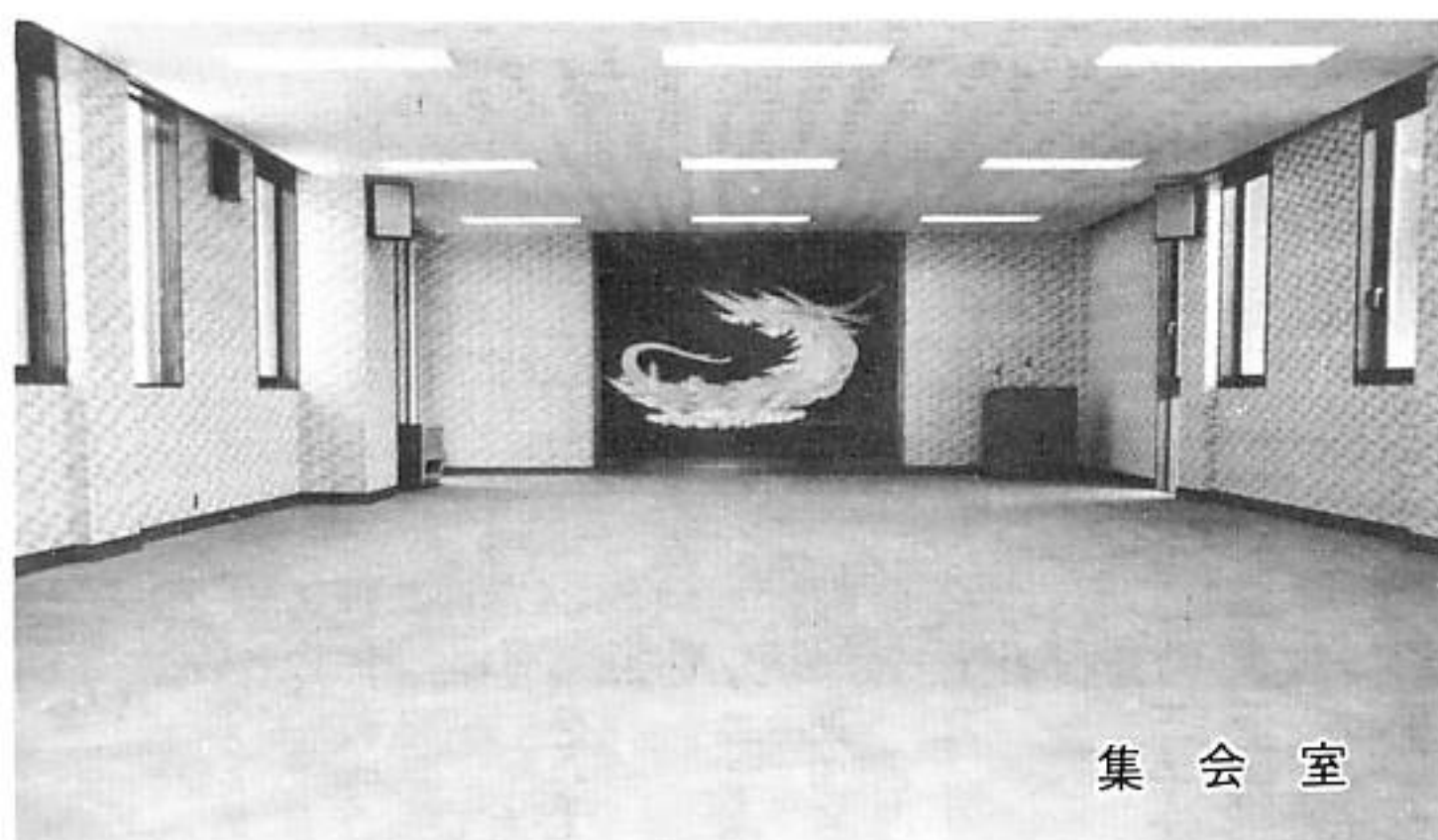
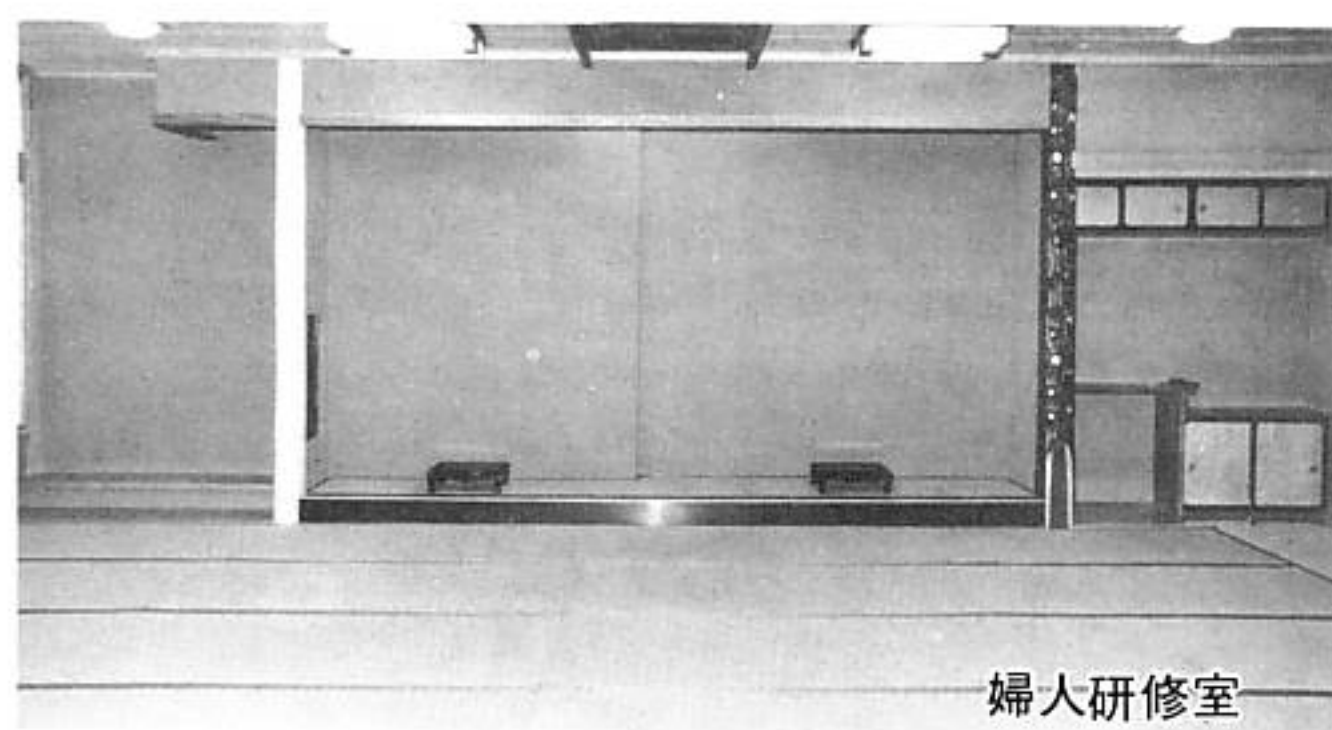
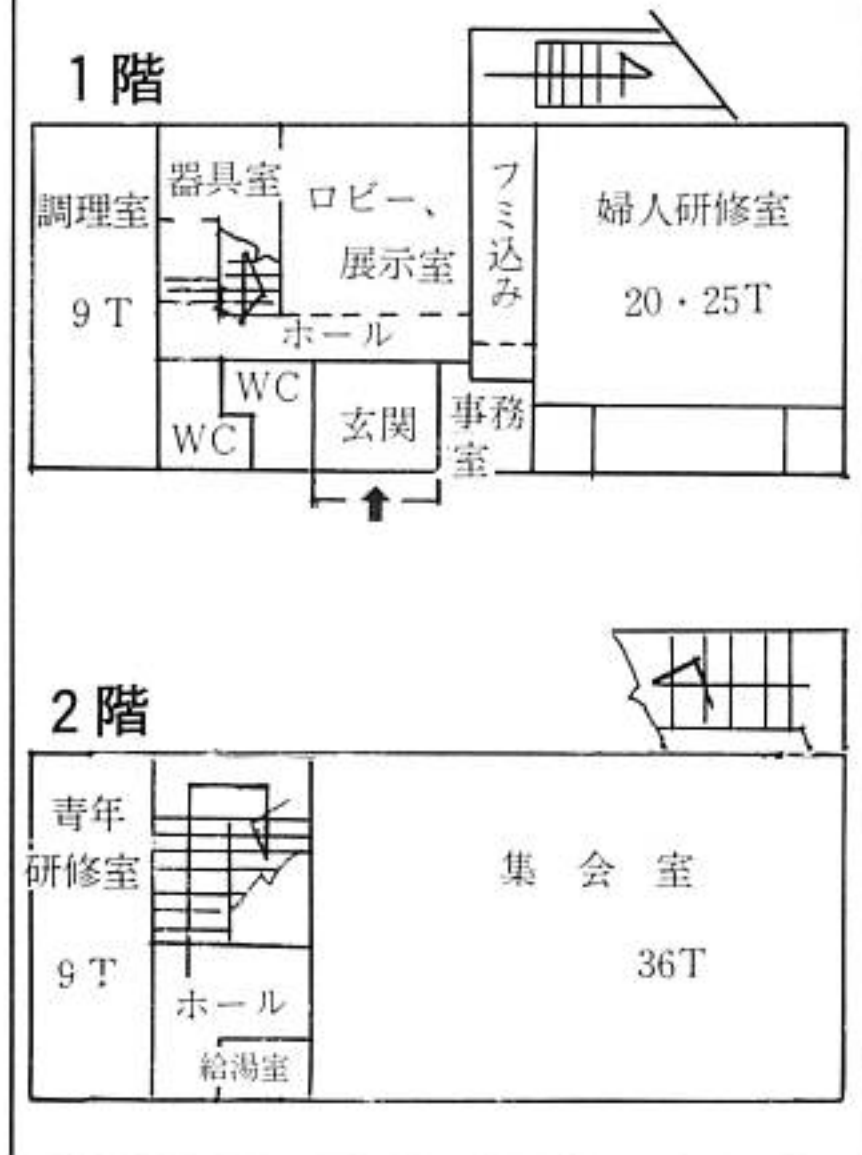


黒淵、蔵に今年六月から建設がすすめられてきました「多目的研修集会施設（集落センター）」が完成。十二月二十三日には町、議会、県、工事施工業者、地元住民代表者ら関係者多数が出席し、両センターにおいて落成式を行なったあと、引き続き有隣館で合同の祝賀式が盛大に行われました。

多少違いがありますが、どちらも鉄筋コンクリート二階建てで、集会室をはじめ、青年、婦人両研修室、調理室等その持つ機能はすべて同じです。

今後、黒淵のセンターは「八塩館」、蔵のセンターは「大蔵館」の呼称で地域の文化、生活の向上に大いに活用されることが期待されます。（今号では「八塩館」を写真紹介します。）

こんな建物です



昭和52年度
町財政状況を公表

こう使われた!

一般会計 15億6千万円

東由利町告示第十六号
財政報告書の作成及び公
表に関する条例(昭和三十
年条例第二十号)に基づき
財政状況を次のとおり公表
する。
昭和五十三年十二月二十三日
東由利町長 小松栄男

豊かな暮らしをめざして ……農林水産業・商工……

町では主産業である農作物の安定生産を目標に、集落農場化をはじめとして各生産団体の育成を図りつつ、二次農構やミニ総バ事業等、農業生産基盤の整備や近代化をめざした事業が積極的に進められました。

また、51年から二カ年連続で建設が進められてきました「山村開発センター」が完成、「有鄰館」と命名され、52年11月1日に堂々オープンしました。

- 山村開発センター建築… 202,407千円
- 二次農業構造改善… 63,664千円
- 農村基盤総合整備… 44,945千円
- 団体営圃場整備… 25,351千円
- 団体営草地開発… 16,507千円
- 緊急粗飼料増産対策… 5,916千円
- 特用林産物生産対策… 3,603千円
- 県単小規模土地改良… 11,076千円
- 牧道、産業道路整備… 3,100千円
- 電気導入(三相化)… 1,489千円
- 葉たばこ振興… 1,138千円
- 良質材生産振興… 2,666千円
- 公有林整備… 13,894千円
- 町商工会補助… 1,000千円
- 町森林組合負担金… 822千円



十二月十五日から八日間にわたって開催された十二月定例議会、昭和五十二年の各会計の決算が承認されました。

五十二年の一般会計の決算額は、歳入で十六億二千七百三十七万円となり、前年度決算を十九・六割を上回る大型決算で、六千六百八十八千円の繰越しを残しました。

町税、交付税の自然増、開発センター建設などに伴う補助金、町債などが、歳入の伸びた要因。これにより、歳出も農業生産基盤の整備や道路の新設、改良を始め、各分野にわたって、豊かな、住みよい町づくりをめざした数々の事業が進められました。以下、その内容をお知らせします。

建設事業に総額の四割強

一般会計 六千二百百万円の黒字

一般会計

歳出 歳入

歳入		歳出	
性質別	金額	性質別	金額
町税	(6.3%) 102,189千円	議会費	(1.8%) 27,862千円
繰入金	(4.0%) 65,176千円	総務費	(12.6%) 196,198千円
繰越金	(3.7%) 59,413千円	民生費	(7.7%) 119,700千円
分担金・負担金	(3.5%) 57,442千円	衛生費	(2.8%) 43,323千円
その他	(4.5%) 75,517千円	農林水産業費	(34.6%) 539,567千円
地方交付税	(35.9%) 583,621千円	労働費	5,079千円
地方譲与税	(0.9%) 15,096千円	商工費	1,503千円
自動車取得税交付金	(0.7%) 11,031千円	諸支出金	2,066千円
県支出金	(19.1%) 310,568千円	土木費	(12.0%) 186,608千円
国庫支出金	(7.5%) 121,317千円	消防費	(4.8%) 73,681千円
町債	(13.9%) 226,000千円	教育費	(10.9%) 168,776千円
		災害復旧費	(7.9%) 121,922千円
		公債費	(4.9%) 74,997千円
		繰入金、投資及び出資金	0.8%
		普通建設事業費	44.1%
		維持補持立助費等	14.9%
		扶助費	7.6%
		歳入	15.8%
		歳出	9.0%
		総額	十五億六千二百二十八万二千円

特別会計決算の状況

町には、一般会計のほかに、町民のみなさんの便宜を図るための事業を行っている、それぞれ独立した四つの会計があります。これらを「特別会計」といい、国の補助金や税金、使用料、手数料、一般会計からの繰入金などで運営されています。

国民健康保険事業会計

歳入 三億四千六百四十九万五千円
歳出 三億四十万三千円
差引残額 四千六百九万二千円

この会計では、国保加入者の医療費の七割給付を始め、助産費や育児手当、葬祭費、高額療養費の給付などが行われています。(助産費六万円、育児手当五万円、葬祭費二万円、高額療養費は、月三万九千円を越える分の医療費を国保が負担。)

簡易水道事業会計

歳入 二千六百三十四万三千円
歳出 二千八百八十五万七千円
差引残額 四百四十八万六千円

東由利水道、館合水道、大琴水道の三水道の水質保全や施設の管理、運営、水源確保等、生活用水を供給するための事業を行っています。

決算審査報告(概要)

代表監査委員 小番 銈平

財政収支及び運営の状況

一昨年来の不況を脱出し、回復基調にあるといわれながらも依然楽観を許さぬわが国経済情勢のもとで、本町の昭和五十二年予算が編成され、地域住民の生活安定を配慮しながら、更に一般行政費についてはこれを厳に抑制し、財政の重点的配分と経費支出の効率化等、適切な財政運営を図り、前年に引き続き繰越金を生じたことは敬意を表する。

限られた財源のなかで、住民の多くの要望にこたえるために最も緊急性重要性をみながら公正な判断をしなければならぬ。しかし最近、単に一年度限りのものとして進め得がたいものが多く、長期的総合的な計画に努めなければならぬ。

なお厳しいわが国経済情勢下にあつて、特殊財源に恵まれない本町の財政はその硬直化の傾向が予想される。

したがって安定成長に対応し、新しい時代への速やかな適応を図るとともに、国の施策の動向、多様化する住民の要望を検討し、住民福祉の向上に一層努力されたい。

財政収支については、六千六百八十八千七百二十三円の形式収支の剰余金を生じており、歳出の項で示すように投資的経費が五一・九%と積極的に行っているにもかかわらず黒字を維持したことは、収支均衡と正確な財政計画であつたと認める

総括

一般会計

帳簿及び証書類を照査し精密に審査をした結果計数的に誤りなく、又非違な経理を発見し得なかつたので適正な決算であることを認める。

特別会計

各特別会計の審査に当つて、関係証書及び諸帳簿を審査するにいずれも正確であり適正であることを認めた。

住民サービスの行政を
……議会・総務……

本荘・由利の各市町村で組織している広域圏組合の事業(ゴミ・し尿処理、老人ホームの経営など)と、町独自の事業との組み合わせの中で、住民本意の行政が進められました。



尚、昭和30年の旧村合併後から昭和49年の町制施行までの20年間に発行された、生きた郷土史ともいわれる『東由利村報・縮刷版』が発刊され、好評を得ました。

- 広域市町村圏組合負担金…11,269千円
- ※一般事務局費負担…1,369千円
- ※老人ホーム(養護・特別養護・軽費)分担金…862千円
- ※ゴミ、し尿処理事業負担…9,038千円
- 町報発行費…2,816千円
- 村報縮刷版作成費…2,288千円
- 財政調整基金積立て…29,517千円
- 庁舎施設工事請負費…16,045千円
- 参議員議員選挙費…1,879千円

健康と幸せを願って
……民生・衛生・労働……

老人・乳幼児の医療費無料化や、老朽化激しい黒瀾診療所の改築など、福祉制度と施設の充実を図ってきました。



保健衛生面では、住民の健康を守るための各種検診・予防事業などが行われました。

- 町社会福祉協議会補助金…2,540千円
- 老人家庭奉仕事業委託料…2,191千円
- 老人居室整備資金貸付…1,200千円
- 老人いこいの家管理費…4,050千円
- 福祉医療…34,565千円
- 保育所事業措置費補助…35,497千円
- 児童手当支給…9,490千円
- 循環器検診…1,020千円
- 胃・婦人科検診…2,365千円
- レントゲン検診…921千円
- 黒瀾診療所建築費…9,430千円
- 塵芥処理費…4,693千円
- 出かせぎ対策関係費…4,848千円

教養と文化の町に
……教育……

学校教育では、「心豊かな人間づくり」をめざして、着実な実践を続けるとともにによりよい教育環境施設充実のため、51年の住吉小について宿小にも、6コース、25mの水泳プールが建設されました。

一方、社会教育関係では、分館活動の一層の充実を図りつつ、社会教育の向上をめざした各種学級や講座が開設されました。

また、地域住民の健康増進と、コミュニティづくりのため、旧下郷中学校跡地には、野球のほか陸上競技、バレーボールもできる「横渡運動場」整備にも着手されました。

- 小・中学校管理費…64,016千円
- 宿小プール整備…29,306千円
- 横渡運動場整備…8,767千円
- 遠距離通学費補助金…1,333千円

環境の整備と安全に
……土木・消防……

町発展の目安は、やはり道路の整備状況。町ではこの道路整備を52年度の重要施策の一つに掲げ、主要路線の全線舗装をめざして拡幅や改良工事が進められ、7路線、およそ2,100メートルが舗装整備されました。

- 杉森林道開設…14,356千円
- 蔵上里線改良…13,800千円
- 除雪ドーザー購入…13,845千円
- 新沢線改良舗装…13,309千円
- 湯出野線改良…13,776千円
- 上野線改良舗装…5,782千円
- 館前線改良舗装…5,313千円
- 島宮線舗装…4,249千円
- 十二ヶ台橋改良…3,600千円
- オノ神橋改良…1,800千円
- 十二の前線改良…10,844千円
- 西山線改良舗装…14,622千円
- 農道整備…23,007千円
- 新田線改良…8,223千円
- 台山線舗装…8,556千円
- 白ヶ沢林道改良…5,973千円
- 十二ヶ台橋改良…3,600千円
- 消防ポンプ自動車購入…5,490千円
- 防火水槽整備…4,826千円

会 玉
米 財 産
計 区

歳入	五百二十四千円
歳出	五十八万五千円
差引残額	四百四十三万九千円

同財産区有の山林(広葉樹林二七・三八五畝、針葉樹林十八・〇六畝、計二九・一九一畝)を良好に維持・管理するためのものです。

会 黒
瀾 診 療
計 所

歳入	二百万四千円
歳出	百八十四万二千円
差引残額	十六万二千円

黒瀾地区住民の健康の保持・増進のために経営されている同診療所の、医療費、施設管理費などが主なもので、町の開業医が交替で毎週木曜日の午後、診療にあたっています。

尚、同診療所は昨年、七百三十五万七千円で改築されました。

昭和53年度
(4月～9月)

東由利町の財政

上半期財政報告公表

一般会計

五億六千万円
を追加補正

昭和五十三年度上半期(四月一日から九月三十日まで)の町財政の概況を報告します。

昭和五十三年度一般会計の当初予算額は、歳入歳出とも十五億九千百十三万一千円でしたが、その後五回にわたって五億六千四十七万四千円が補正され、九月末日現在では二十一億五千六百五十万五千円になっています。

この予算のうち、四月から九月までの収支状況を見ますと、予算額に対して歳入は三十五・一%が収入済。また、歳出では二十八・六%がすでに支払われています。

これを前年同期と比較してみますと、歳入の金額では一億二千五百三万五千円の増、割合では七・三%の減、歳出の金額では八千二百六十三万八千円の増、割合では七・二%の減となっています。

尚、金額では増加しながら、割合で減少しているのは今期の予算総額が前年同期に比べて百四十五%と大幅に延びているためです。

予算額に対する収入済額の状況

総額				予算額 2,151,605千円 収入済額 755,772千円 (35.1%)
繰入金	予算額	47,351千円	町税	 予算額 107,977千円 収入済額 63,361千円 (58.7%)
	収入済額	0千円 (0%)		
繰越金	予算額	66,088千円	地方交付税	 予算額 643,266千円 収入済額 485,708千円 (75.5%)
	収入済額	66,088千円 (100.0%)		
町債	予算額	359,100千円	国庫支出金	 予算額 189,887千円 収入済額 107,320千円 (56.5%)
	収入済額	0千円 (0%)		
その他の収入	予算額	151,930千円	県支出金	 予算額 586,006千円 収入済額 2,840千円 (0.5%)
	収入済額	30,455千円 (20.0%)		

公債現在高
858,195千円

大蔵省
474,965千円

郵政省
81,389千円

金融公庫
108,600千円

その他
193,241千円

町有財産

基金	252,469千円	土地	6,982,289m ² (うち山林 1,262,937m ²)
財政調整基金(一般)	148,979千円	建物	26,295m ²
国保財政調整基金	68,065千円	有価証券	1,443千円
簡易水道財政調整基金	9,015千円	出資による権利	6,233千円
土地開発基金	20,000千円	自動車、ブルドーザー等	23台
高額療養費貸付基金	3,000千円		
中小企業振興基金	2,000千円		
奨学資金貸付基金	1,010千円		
国民年金印紙購入基金	400千円		

町有財産

歳入の状況

四月から九月までの総収入額は七億五千五百七十七万二千元で、このうち、一番大きな割合を占めているのが地方交付税の四億八千五百七十七万八千円です。以下、国庫支出金の一億七千三百二十万、繰越金の六千六百八万八千円、町税の六千三百三十六万一千円、県支出金の二百八十四万円の順になっています。

歳出の状況

一方、四月から九月までに支出された金額は六億一千四百三十一万七千円となっています。

支出にあたっては、道路の改良、舗装、集落センター建設、宿小建設などの公共施設整備をはじめ、農業生産基盤の整備や住民福祉の向上など、限られたお金を最大限に生かし、住みよい町づくりをめざした各事業が着実にすすめられています。なお、今年度に予定されている建設事業の約八割が九月末までに発注され、その後の発注も順調にすすんでいます。

款項別の支出済額の割合をみますと、商工費、諸支出金が五十%を越えており、次いで消防費、議会費、公債費、総務費、民生費が四十%台となっていますが、農林水産業費や土木費などの建設事業の支出がまだのため、全体では二十八・六%となっています。

支出済額の状況



総額

予算額

2,151,605千円

支出済額

614,317千円 (28.6%)



土木費

予算額 256,096千円

支出済額 80,200千円 (31.3%)



議会費

予算額 31,231千円

支出済額 14,730千円 (47.2%)



消防費

予算額 100,410千円

支出済額 49,235千円 (49.0%)



総務費

予算額 187,457千円

支出済額 86,878千円 (46.4%)



教育費

予算額 346,625千円

支出済額 97,663千円 (28.2%)



民生費

予算額 123,893千円

支出済額 53,163千円 (42.9%)



旧災害復費

予算額 41,974千円

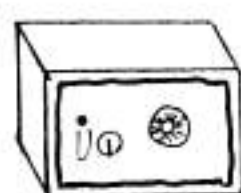
支出済額 7,074千円 (16.9%)



衛生費

予算額 49,770千円

支出済額 19,362千円 (38.9%)



公債費

予算額 91,974千円

支出済額 42,934千円 (46.7%)



労働費

予算額 4,792千円

支出済額 554千円 (11.6%)



諸支出金

予算額 1,969千円

支出済額 993千円 (50.4%)



業農林水産費

予算額 908,441千円

支出済額 159,909千円 (17.6%)



予備費

予算額 4,000千円

支出済額 0千円 (0%)



商工費

予算額 2,973千円

支出済額 1,622千円 (54.6%)

玉米財産区 特別会計

予算額 763千円
収入済額 4,539千円
支出済額 357千円



簡易水道事業 特別会計

予算額 25,324千円
収入済額 13,320千円
支出済額 10,635千円



黒淵診療所 特別会計

予算額 1,982千円
収入済額 1,262千円
支出済額 982千円



国民健康保険 特別会計

予算額 363,197千円
収入済額 138,618千円
支出済額 115,909千円



特別会計の状況

五つ目のスポーツ少年団誕生

玉小に認定証・団旗交付

玉米小学校に本町では五つ目のスポーツ少年団が誕生。十二月九日には、玉米小学区スポーツ少年団としての結団式、並びに日本スポーツ少年団本部からの認定証及び団旗の伝達式が同校体育館で行われました。

式では、同校四年生以上の児童四十七名（男二十二名、女二十五名）が、進藤東由利町スポーツ少年団本部長（町教育長）から団員に認定されるとともに、認定証、団旗が、小松正志団長、さらに団員代表に伝達されました。



スポーツを通じてりっぱな人間になると誓う子ども達

スポーツの好きな子ども達は、体力づくりはもちろん、団員としての誇りを忘れずに、多に汗を流し、スポーツの厳しさを、楽しさを十分に経験するとともに、立派なスポーツ少年団員として頑張りたい……と力強く入団の誓いを述べました。

心のふれ合いを深める

住吉小で親子もちつき

冬休みを前にした十二月十七日、住吉小学校で「親子もちつき会」が行われました。

これは、ふるさとの良さを直すとともに、一緒にもちをつき、食べながら一日を過ごすこと、食育の場として、親子のふれ合いを深めるため、友だちの応援を受け、一生懸命もちをつく子ども達



一生懸命もちをつく子ども達

とで、親子の心のふれ合いをより深めようと開いたものです。体育館には五台のうすが並べられ、いよいよもちつき開始。かわるがわるきねを持ち上げますが腰はフラフラ。周囲のお友だちが「ヨイショ、ヨイショ」とかけ声をかけて応援してくれました。

やつとつきあげたものは早速福祉館に運ばれ、お母さんたちの手でおいしいおやうににされ、親子一緒に「いただきますあす。自分たちでついたもちの味は格別のように、あちこちで「おかわり」の声。

お父さんやお母さんが子どもの頃したという「なわなわ」に、一年生から六年生までの全児童が小松PTA会長の指導を受け、慣れない手つきで真剣に取り組んでいました。

●字数

二千字以内（四百字詰原稿用紙五枚以内）

●切り

昭和五十四年一月三十一日（当日消印有効）

●提出先

秋田市山王四丁目一番一五号 秋田県選挙管理委員会

●賞

最優秀、入賞には自治大臣、佳作には明るい選挙推進協会長から賞状が授与されるほか次の副賞があります。

最優秀 一篇 五万円
入賞 五篇 三万円
佳作 若干 一万円

●応募上の注意

- (1) 住所、氏名（フリガナを付ける）、性別、生年月日及び職業を原稿の末尾に明記する。（字数の制限外）
- (2) 未発表のものであること。

あなたも応募してみませんか 新有権者の感想文を募集

より募集しています。
●応募資格
昭和三十三年一月一日から昭和三十四年十二月三十一日までの間に生まれた方。



明けて未年。一年の計は元旦にありと言われます。この一年、まだ何も画かれていない全くの白紙にどんな絵が画かれるのか。上手とは言われなくてもいいから、せめて楽しい絵で埋まっってほしいもの。

年賀状を出し忘れたり、こちらからは出さなかったのに、相手からもらった場合など、どうしたらよいかで悩んでおられる人も多いでしょう。くどくどと言いつつするのも正月早々から嫌だといって、そのまま放ったらかしにしている人も多いのではないのでしょうか。そんな時、さりとて寒中見舞の葉書を出してはいかうでしょうか。寒中というのには「寒のうち」、小寒の入り（一月六日）より寒明けの立春（二月四日）までをいいますので、時間的にも余裕があります。これなら服喪中の人にも、慰めの気持ちや激励の真心を送ることが出来ます。

- (3) 応募原稿は返却しない。
- (4) 入選作品の著作権は主催者に属する。
- (5) この感想文募集が行われることを知ったもの（新聞テレビ、広報紙、その他）を記入する。

大琴婦人消防隊に感謝状

いち早い初期消火活動



表彰状と記念の時計を手に、一層の訓練を—と話す大琴婦人消防隊代表

本町の大琴婦人消防隊（佐々木倉子隊長、隊員九十名）は二月十五日、本庄地区消防事務組合本部（本庄市）に於て稲田消防長から表彰状並びに記念品が贈られました。

表彰理由は、長年にわたって地域の火災予防に努めるとともに、今年大琴地内に発生した火災に際してはいち早く初期消火に協力、被害を最少限度にとどめている功績には著しいものがある—となっています。

同隊は、昭和二十九年に発生した大琴大火を二度と繰り返すまいと、翌々年の昭和三十一年に組織され、以来地区の防火思想普及に努める一方、毎年数回にわたって消火栓操法などの訓練を実施。今夏の町消防訓練大会では男子消防団に勝るとも劣らない訓練の成果を披露して注目を受けました。

表彰状を手にした佐々木隊長は、「火災に会われた人達のことを思うと、うれしいと言っているのやら正直のところ複雑な気持ちです。有事の際には

日頃の訓練が大いに役立っており、今後尚一層、訓練を積み重ねるとともに防火思想普及に努め、火事のない地区となるよう頑張っていきたいと思っております」と話していました。

出かせぎと国保

＝保険負担分の医療費＝

資格喪失後は返還が必要

出かせぎ等で会社や事業所の健康保険に加入し、国民健康保険の資格を喪失した後は、同保険の被保険者として保険診療を受けることができないことになっています。

ところが、出かせぎ者の中には資格の喪失届が遅れ、遡及（はさき）は届出年月日より前に遡って（はさき）して喪失届を出す例が多く見られ喪失後の受診というケースが増えています。

正当性のある届出の遅延（遡及）の場合は、それに基づいて資格が遡って喪失され国保税も月割計算によって減額されますが、次のような場合は、反面で国保負担分の返還を求められることとなります。

①届出前の国保受診が、遡った資格の喪失後にあたる場合は国保法六十五条や民法七百三条の規定により、国保が給付した七割分の診療報酬（医療費）は不当利得、あるいは不正利得として返還しなければならない。

扶養家族に周知を

②世帯主の場合は、その扶養家族全員を会社等の健康保険と一緒に加入させる（扶養家族として）のが建て前になっている

が、扶養家族に遠隔地の被保険者証を交付してもらわないでいたり、家族が会社等の健康保険に切りかわったことを知らないで受診した場合も①と同様返還を要することになる。

必ず診療機関

への届出も

③役場（国保）への届出はキチンと定められた期間（十四日以内）に行っても、かかりつけの診療機関に会社等の健康保険の被保険者証を呈示しない場合は、診療機関が従来の国保資格のままとして取り扱うので、この場合も返還が必要になる。

適格な異動届で

大半が防止できる

以上、出かせぎ等で会社等の健康保険に切りかわった場合に国保給付分の返還を求められるケース三例を挙げましたが、こうしたことを未然に防ぐためには第一に、資格異動の届出は定められた期間（十四日以内）に速やかに行う。第二には役場への届出と同時にかかりつけ診療機関への届出も忘れない。第三には留守家族（扶養家族）によく周知しておく……などが最も大切なことと言えます。

消火栓の確保は部落で

部落内の消火栓や防火水槽が雪に埋っていませんか。万一のときに使用できないと大変です。それぞれの部落で確保、管理しましょう。

福祉の窓

◎制度の目的

この制度は、国の制度によって救済されている者を除く、自己の負担を容易としない者の心身の健康保持と生活の安定を図るため、医療費の自己負担分を無料化しようとするものです。

◎支給対象者

町内に居住する次に掲げる者で、国民健康保険の被保険者及び被用者保険の被扶養者となります。

- (1) 二歳未満の乳幼児及び二歳の入院児。
- (2) 身体障害者福祉法による身体障害者手帳所持者で、六十五歳以上の者（

高令身障者）

- (3) 重度心身障害児（者）で療育手帳（A）の所持者及び身体障害者手帳（一―三級）所持者。（但し、前記（1）、（2）を除く）
- (4) 七十歳以上（寝たきり老

福祉医療制度

医療費の自己負担分を無料に

人は六十五歳以上）老人医療所得制限対象者。

◎受給者証の交付

- (1) については、出生の届出あったとき又は、他市町村から出生届が送付されてきたとき。

◎支給方法

福祉医療費によって自己負担分の支給を受けるためには、前記受給者証と被保険者証を医療機関窓口提出することによって処理され、医療費は無料となります。

◎第三者行為の届出

受給対象者が第三者行為によって生じた医療を受けようとするときは、その事実、当該第三者の住所、氏名、並びに被害の状況をただちに町長に届け出なければなりません。

◎県外医療機関での受療

この制度は、秋田県独自の制度のため、県外の医療機関では通用しません。

もし、どうしても県外の医療機関にからなければならなかったときは、その診療にかかる領収証を役場住民厚生係に持参して相談を受けて下さい。



町の概要	
人口総数	6,442人
うち男	3,173人
うち女	3,269人
世帯数	1,468戸
面積	148.51km ² (53.12.1)

永慶で二十歳を祝う 保育園

園児見事な鼓隊演奏披露

社会福祉法人蔵立会(小野昭一理事長)の経営する永慶保育園で十一月二十六日、園児や父兄、来賓など約二百名が集って創立二十周年記念式典が行われ



園の成人を祝って春からの練習成果を見事に披露

式典では、園児たちが今春から練習を積み重ねてきた大太鼓、中太鼓、小太鼓、メロディオン、シンバルによるかわいい鼓隊演奏が披露され、会場のあちこちでは目を細めながら盛んにカメラのフラッシュをたくおとうさん、おかあさんの姿がみられました。

式の最後には、出席した父兄、園児ら全員で「赤とんぼ」を大きな声で合唱、保育園誕生

満二十年を心から祝っていました。

同園は、昭和三十三年五月十五日、蔵立寺山号「永慶」を名とする東由利では初の保育園として創立、阿部寅静園長以下職員五名、園児七十五名で開園されました。

その後、昭和三十六年にはへき地保育所の指定を受け、施設の充実を図るとともに、五十一年には、定員九十名の法人立認可保育所となり、職員も八名に増員され現在に至っています。この間の卒園生は九百九十三名にも及んでいます。

人間の成長段階において、ものを考えたり、記憶したりする能力の九十%が生まれて四、五歳までに完成されるといわれ、最近特に幼児保育、幼児教育が重要視されてきています。

こうしたことから、満二十歳の成人を迎えた同園の今後の発展に、地域住民の大きな期待がかけられています。

社福だより

故小松徳三郎殿のご遺族(新町、小松富七さん)より香典返しとして十万円が届けられました。

故人のご冥福を哀心よりお祈り申し上げます。

電話線

切断事故に注意

電線

今年もまた雪の季節がやってきました。

毎年この時期になると雪降しなどによる電話や電気の引き込み線の切断事故が多く発生し、関係機関ではこの対策に苦慮しています。

特に、地理的、季節的悪条件のもとでは早急に修理できない場合も予想されます。

「雪降し」の際には、こうした事故を起こさないよう充分注意をしてください。また、子ども

「部落長」改め「自治会長」に

新年から名称変更

去る九月十九日に行った部落長研修の席上、部落長という名称の変更について話題となり、意見交換をした結果、町では新年から、大方の賛同を得て、部落長を自治会長に改めることにしました。

地方自治体の発展は、各単位地域の発展なくしては成し

得ることができません。

二次農構、ミニ総パ等、数々の大きな事業を抱え、まさに発展途上にある本町にあって、新たな自治会長の名のもと、住みよい豊かな町づくりのため町民の皆様の尚一層の理解と協力を望んでいます。

善意

東中に雑巾30枚

久保の高橋キヲさんはこのほど東由利中学校に雑巾三十枚を贈り、喜ばれておりました。

宿小にもち米一斗

大琴の佐々木君三さんは宿小のもちつき大会に、もち米一斗を贈り、子ども達から喜ばれました。

親身になったの

搜索に深く感謝

年末も押し迫った十二月十七日、新町の小野仁三郎さん(六十九歳)が西山にホウキの材料であるシバを取りに行ったまま行方不明となり、町消防団、地元住民、本荘署、消防署など延六百名が出て付近を搜索した結果、十九日午前、残念ながら遺体となって発見されました。突然に父を失った小野倉蔵さんは「父の行方不明で、地元の方々、消防団、警察、消防署のほか町民の皆様が大変ご迷惑をおかけ致しました。お陰で、変り果てた姿とはい

え年を越さずに発見することが出来、心から感謝しております。各々お礼にあがらなければならぬ。失礼とは思いますが機会を借り、ご協力頂きました皆様に厚くお礼申し上げます。本当にありがとうございます。ありがとうございました。」と話していました。

慶弔

11月21日〜12月20日



誕生

おめでと



結婚

おしあわせに

高橋 一夫	松 柴
木 嶋 郁子	大 台
菊 地 定男	新 沢
阿 部 幸子	土 前
高 沢 照久	津 沢
山 口 かよ子	岩 手 県

お悔み申し上げます

小松徳三郎	新 町	82歳
大日向重治	宮ノ前	82歳
長谷山三弥	地下ノ沢	46歳
小野仁三郎	新 町	69歳